

川越比企保健医療圏 難病対策の今後の取組について（案）

課題

- これまで協議した課題（人材不足、重度訪問介護の対応先不足、レスパイト先不足、精神的支援の不足 等）

制度上の課題は圏域内の取組では改善が困難

- アンケート結果（①全介助の在宅患者が多い②災害時の対応を心配している在宅患者が多い）

当医療圏では、地震、台風による停電や河川氾濫による浸水被害が起こりやすい

人工呼吸器や吸引等の医療ケアを必要とする患者の電源確保や迅速な避難行動が困難な全介助の在宅難病患者への支援対策が不十分

優先的に取り組む課題

- 災害を想定した支援

目標：
 ①圏域関係者が課題を認識し対応策についての合意形成がなされる
 ②具体的な取組ができる

今後の事業展開

- ①研修会等の開催
（災害時の対策について関係者の合意形成を図る）
- ②検討会等の開催
（具体的対応、役割の整理）
- ③難病（主に人工呼吸器装着者）患者に対応した医療圏での災害ハンドブック作成、周知

事業の進捗状況を協議会にて報告し、評価・修正を行う